

令和2年度（2020年度） 第4回 教育研究評議会議事概要

日 時 令和2年（2020年）7月15日（水）15：00～16：10
場 所 本部管理棟3階 第1会議室及び第2会議室（旦野原キャンパス）
出席者 別紙のとおり

議事概要の確認

令和2年度（2020年度）第3回教育研究評議会議事概要（案）を確認した。

審議事項

1 教員の任用計画（資料1-1～4）

高見評議員、山岡評議員及び越智評議員から、資料に基づき説明があり、審議の結果、提案のあった教員の任用計画について了承された。

なお、学長から本件の任用予定者はいずれも非喫煙者である旨説明があった。

2 新しい学科の設置構想（案）（資料2-1～2，参考資料1，2）

津村評議員及び山岡評議員から、資料に基づき説明があった。

その後、以下のとおり質疑応答を行った。

- 理工学部の定員シフトの根拠として挙げられている問題は、1割シフトしても問題の解決にならないのではないか。
- 今後の少子化を勘案すれば、大学内において定員をシフトし、大学の機能強化を行うことは、既定路線であると考えている。
- 定員をシフトする理由は、学部のカリキュラムやプログラムの変更（改組）によるしてもらいたい。
- 新学科構想は医療人材の不足が背景にあるが、10年先、20年先の少子化を見据え、社会の変化や働き方を議論し、AIやロボットによって、社会全体の半数の仕事がなくなることを考慮した大学改革を議論してほしい。
- 現在の専門学校等で学ぶ内容では、現在のように高度化した臨床検査や臨床工学には追いついていけない。学術的な教育や検査の高度化に対応するためには、大学で教育を行うのがふさわしく、時宜を得ている。
- 今後、学内で連携していくために、教員組織と研究組織の棲み分けを含めて検討してほしい。
- 建物や教員の配置等に係る今後の審議スケジュールについて、いつごろを予定しているか。早めの審議をお願いしたい。
- 新学科構想案はこれまで評議会の議題となっておらず、学部長等連絡調整会議で審議されたものが、いきなり教授会に下ろされ、またマスコミ発表まで行われた。今後は早めに、評議会に諮って議論できるようにしてもらいたい。
- 今後も適切な時期に評議会に諮り、検討していきたい。

- 新学科構想については、大学改革戦略会議、役員懇談会、学部長等連絡調整会議、さらに外部有識者がいる将来構想検討会や経営協議会等々で議論を重ねてきた。具体的な内容や数値は、今後、文部科学省と協議しながら決めていくが、そのためにまずは大学の方向性を定める必要がある。
- 福祉健康科学部に関する改組案についても、どのようになっているのかの確認をしたい。
- 本構想に関わるステークホルダーのうち、受験者や保護者、高校教員への言及がない。3コース別に入試を行うのであれば、医療マネジメントコースの入試難易度は現在の経済学部との難易度とほとんど変わらない懸念があるので、高校教員との意見交換を行う必要がある。
- 経済経営系を志望する高校生は進路希望があいまいなまま入学し、大学で途中で次第に進路を絞り込んでいく者が大半であることから、経済学部の中に医療経営コースを設置する方が受験生は安心するのではないか。また経済学部卒業生の中には医療機関で経営業務に従事している者が既にいることから、医療経営人材は経済学部で養成可能である。
- 経営学に特化するのではなく、医学の知識をベースとして、行政、経済といった医療政策の知識の習得を想定している。
- まずは大学共通教育プログラムを作り、受験生や教員数、さらに「まち・ひと・しごと創生基本方針」に示された地方国立大学の定員増措置について検討したうえで新学科を作るという2段階方式の方が、より良いものができるのではないかと。
- 対外的な進捗に係る話においては、大分大学としての新しい展開の方向性であるということを前面に押し出してほしい。

もう少し検討を重ねた上で、決定したい旨の意見もあったが、今後の検討スケジュールも踏まえ、挙手での採決を行った。その結果、議長を除き、賛成18名、反対0名、保留3名の賛成多数により、本件を了承し、原案の方向性にそって進めて行くこととした。

3 平成28～令和元事業年度に係る実績報告書（案）（資料3-1～5）

津村評議員から、資料に基づき説明があり、審議の結果、了承し、経営協議会及び役員会に付議し、7月末までに文部科学省に提出することとした。

なお、今後の文言の修正については、学長及び担当理事に一任することとした。

報告事項

1 令和3年度認証評価受審に伴う主要会議の見直し（資料4-1～4）

桑田評議員から、資料に基づき、報告があった。

評議員から、廃止や人数削減の対象となる部門会議について、当該会議を開催してその可否を審議する必要があるのではないかと意見があり、桑田評議員から、一部の会議等では検討したが、不開催の会議については委員長等の意見を聴取のうえで整理し

た旨説明があった。

また、評議員から、認証評価について、内部質保証に係る機構側の意図の理解が不十分であるため、今後の審議において、機構の求める意図を十分に検討していただきたいとの要望があり、学長から適切に対応する旨発言があった。

2 令和元年度（2019年度）卒業（修了）者の就職状況等（資料5-1～5）

大崎評議員から、資料に基づき、報告があった。

その他

次回の開催日程について

第5回教育研究評議会

日 時：令和2年（2020年）9月16日（水）15：00～16：00

場 所：本部管理棟3階 第1会議室及び第2会議室（旦野原キャンパス）

資 料

- 令和2年度（2020年度）第3回教育研究評議会議事概要（案）
- 資料1-1 教員選考報告書任用等予定者一覧
- 資料1-2 教員選考資料（経済学部門）【画面提示】
- 資料1-3 教員選考資料（医学部門）【画面提示】
- 資料1-4 教員選考資料（理工学部門）【画面提示】
- 資料2-1 新しい学科の設置構想（案）
- 資料2-2 医学部の新学科構想について（案）
- 参考資料1 大分大学の将来構想と今後の取組について
- 参考資料2 新しい学科の設置構想に係るデータ
- 資料3-1 平成28～令和元事業年度に係る実績報告書（案）
- 資料3-2 平成28～令和元事業年度に係る実績報告書（案）抜粋
- 資料3-3 中期目標の達成状況報告書（案）
- 資料3-4 学部・研究科の現況調査表（教育）（案）
- 資料3-5 学部・研究科の現況調査表（研究）（案）
- 資料4-1 令和3年度認証評価受審に伴う主要会議の見直しについて
- 資料4-2 大学機関別認証評価について
- 資料4-3 大分大学における主要会議等（現状） R2.4 現在
- 資料4-4 大分大学における主要会議等（見直し案）
- 資料5-1 令和元年度就職状況（学部生）
- 資料5-2 令和元年度就職状況（大学院生）
- 資料5-3 令和元年度就職状況（地域別）
- 資料5-4 各学部の就職率等の推移
- 資料5-5 医師等国家試験等結果及び教員就職状況